

## 博士(体育科学)

Doctor of Philosophy in Health and Sport Sciences

### 学位授与の方針

博士(体育科学)の学位は、授与するにあたり以下の方針を掲げています。

学際的・複合的な学問領域であるヒューマン・ケア科学において、心身の健康と運動・スポーツ・身体活動に関わる独創的で優れたテーマを設定し、博士の学位に相応しい成果が得られ、論理的な構成に基づく学位論文の体裁にまとめられていること。それらの内容が、健康の保持増進のための社会的支援策の実践に寄与し、健康社会の実現に資すると認められること。また、有資格者(保健師、看護師、理学療法士、作業療法士、学校教諭、管理栄養士等)の場合には、その専門技術と体育科学の専門素養を兼ね備えた、より社会貢献性の高い技術力を有すると認められること。

大学院学則に規定する課程の目的を充足した上で、次の能力を有することがヒューマン・ケア科学専攻内規に示した審査会において認定されること。

■ヒューマン・ケアの理念に基づく社会貢献性の高い成果を発信する明確な意思やその能力及び教育能力

■心身の健康の保持増進と運動・スポーツ・身体活動に関わる独創的で有意義な研究課題を見出し、課題解決に貢献する高い研究能力及びその教育能力

■国際社会で人間支援の能力を発揮するためのコミュニケーション能力

■研究チームや組織の一員としての役割を明確に認識し、他職種や他研究領域の研究者と協働できる能力

■自身の研究内容を他の研究領域の者にも適切に説明できるプレゼンテーション能力及び教育能力、また適切な質疑応答ができるコミュニケーション能力

### 教育課程編成・実施の方針

必修科目としてヒューマン・ケア科学基礎論、ヒューマン・ケア科学方法論がそれぞれ3単位設定され、子どもから高齢者・障害のある人まであらゆる人々の健康支援に関わる学際領域の基本素養を習得します。これにより、健康課題解決のアプローチ方法について基本的な知識を習得し、また学際的な研究交流の実施ができるコミュニケーション能力を獲得します。

この基盤の上に、専門科目として6単位以上が設定され、心身の健康の保持増進と運動・スポーツ・身体活動およびその心理社会環境要因に関する専門素養を養い、これらに関わる高度な研究能力や教育能力を獲得します。具体的には、演習により、さまざまな心身健康課題と運動・スポーツ・身体活動についての実証検討、および問題解決のための学校・地域・職域での社会的支援策の考案に関する専門知識を習得し、またこれらに関する教育能力を獲得します。また特別研究により、一連の研究過程に関わる理論と方法を習得し、学位論文を作成できる高度な研究能力を獲得します。

さらに大学院共通科目については、必修とはしていませんが、研究者、大学教員、高度専門職業人としての倫理観や基礎的な素養を習得するために、その履修を強く勧めています。

### 達成度評価

■標準履修年次である3年間の修了(学位授与)を念頭に指導教員のみならず複数の副指導教員での教育体制を確保し、丁寧で質の高い指導を計画的に行います。

■ヒューマン・ケアの理念に基づく社会貢献性の高い成果を発信する明確な意思、健康課題の解決に向けて関係学術領域と連携を図ることができるコミュニケーション能力、心身の健康を保持増進する運動・スポーツ・身体活動要因およびそれらの社会的支援策に関する研究能力と教育能力の達成状況を確認します。

■履修科目やその単位数、学位論文の進捗状況、障害となっている事項、投稿論文の進捗状況等を確認し、その達成状況を教員と学生が共有するとともに、これらに対して教員が適切な指導を行います。またこれらを通じて、コミュニケーション能力、研究倫理観、学際的視点の深度等も確認します。

■3月ごとに学修指導を実施し、研究の進捗状況や今後実施すべき内容等に関して、学生が指導教員及び副指導教員との間で十分な意思疎通の下で共有できます。

### 学位授与の体制など

■標準履修年次である3年間での修了(学位授与)をめざし、標準学修課程フローチャートにより計画的・継続的に複数の教員から指導を受ける体制を整えています。表1に示しましたが、学生及び教員に専攻内規集として配布し周知しています。指導経過については3月ごとに学修指導記録として提出され、専攻教育会議において各学生の研究進捗状況が確認されています。

■学位論文審査会までに、中間審査会と予備審査会があります。

■中間審査会において、学位論文のテーマと全体計画及び研究内容に関する論理一貫性等が確認されます。その際に、他の研究分野の教員から異なる視点での指摘や指導がなされます。また学生間での討論ができるように、学生からのコメントが評価を受ける側の学生に文章で渡され、今後の研究の参考とされます。

■予備審査会において、学位論文として質の審査や学術論文の投稿についての確認がなされます。審査会には他の研究分野の副査も参加します。

■学位論文審査会では予備審査会の主査・副査に加えて、他専攻から副査を追加し、さらに学際的な視点からの審査が実施されます。

■学位論文審査の公正性を確保するために、可能な限り指導教員を主査としない工夫をしています。

学年	スケジュール
1年次	学位論文テーマの決定
	指導教員・副指導教員の決定
	TA等による指導力・教育力の修得
	共通科目履修による学際性の涵養 3月ごとの学修指導
2年次	中間審査
	研究内容の審査
	発表能力の修得
	他研究への吟味的評価 学会発表の実施 学会誌への投稿準備 3月ごとの学修指導
3年次	学会誌への投稿
	予備論文の提出と予備審査 学位論文の提出と学位論文審査
	成果発表会にて学位論文のプレゼンテーション

表1 ヒューマン・ケア科学専攻の標準学修課程